第 7 回経橈骨動脈脳血管内治療研究会開催のご報告と御礼

経橈骨動脈脳血管内治療研究会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、2026 年 6 月 6 日に JR 九州ホール（福岡市）において第 7 回経橈骨動脈脳血管内治療研究会を開催し、6 月 22 日から 7 月 31 日までオンデマンド配信も実施いたしました。加えて、本研究会に先立ち、TRN の基本手技や考え方を学ぶためのプレセミナーも開催し、多くの先生方にご参加いただきました。

今回の研究会では、「安全・確実な橈骨動脈アプローチ」をテーマに掲げ、TRN をこれから導入する施設から、すでに日常診療で実践されている施設まで、それぞれの立場で学びを得られるプログラムを目指しました。その一環として、安全な導入や標準的手技について理解を深めるための TRN に関する教育講演を企画しました。さらに、企業各社のご協力のもと、プレセミナーも含めて多くの共催セミナーを開催することができ、最新のデバイスや治療戦略について活発な情報共有が行われました。

一般演題では合計 42 演題が発表され、各施設での工夫や最新の研究成果、合併症対策などについて非常に活発な討論が行われました。特に、「九州地区における TRN 普及のための戦略」では、TFA を第一選択としている先生から率直なご意見や課題をご提示いただき、TRN をいかに安全かつ円滑に普及させていくかについて、多角的な視点から議論することができました。TRN の普及を考える上で、極めて意義深いセッションとなったと感じております。

また、今回は懇親会を開催し、全国からご参加いただいた先生方や企業の皆様との交流を深めることができました。世代や施設の垣根を越えて活発な意見交換が行われ、TRN 研究会ならではのネットワークを改めて実感する機会となりました。

オンデマンド配信にも多くの先生方にご視聴いただき、最終的な参加登録者数は 273 名となりました。ご参加いただいた皆様をはじめ、ご講演・ご発表いただいた先生方、ご協賛いただきました企業各社、運営を支えてくださった関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

本研究会で得られた知見や議論を今後の臨床・研究・教育へとつなげ、TRN のさらなる普及と発展に寄与できるよう、引き続き活動を推進してまいります。

末筆ではございますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げ、ご報告と御礼のご挨拶とさせていただきます。

第 7 回経橈骨動脈脳血管内治療研究会 会長
陸上自衛隊　第 4 師団司令部　田之上 俊介

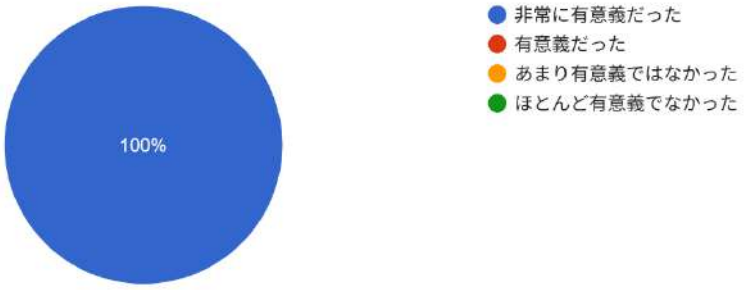
第 7 回経橈骨動脈脳血管内技術研修会開催のご報告と御礼

2026 年 6 月 7 日（日）に JR 博多シティ 9F 会議室 1 におきまして第 7 回経橈骨動脈脳血管内技術研修会を開催いたしました。8 名の講師陣により、16 名の先生方に研修いただきました。エコーガイド下の穿刺、前腕・上腕のカテーテルの進め方、大動脈内でのカテーテル操作、RIST および Optimo の取り扱い、止血方法のハンズオンを行いました。今回は初めて TRN クリニックを開催しました。TRN クリニックでは、あらかじめ研修される先生方から TRN に関連する症例提示をしていただき、当日に講師からアドバイスをしていただきました。研修後のアンケートでは概ね高評価をいただきました（次ページグラフをご参照ください）。今後も研修を受ける先生方の立場で研修内容の改善を継続的に行って参ります。研修会にご協力いただいた、メディキット株式会社、ニプロ株式会社、メリットメディカル株式会社、日本メドトロニック株式会社、株式会社東海メディカルプロダクツ、テルモ株式会社、冨永興業株式会社、共栄医科器械株式会社に御礼申し上げます。次回の第 8 回経橈骨動脈脳血管内技術研修会は 2026 年 11 月 18 日（水）にグランドプリンスホテル新高輪　国際館パミール　2F「青葉」で開催予定としております。

経橈骨動脈脳血管内治療研究会
小山淳一

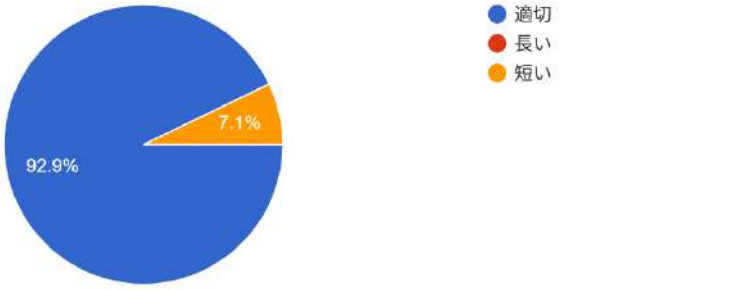
研修内容について

14 件の回答



研修時間について

14 件の回答



参加費について

14 件の回答

